

# ポーランド政治・経済・社会情勢

## (2013年11月28日～12月4日)

平成 25 年(2013 年)12 月 6 日

H E A D L I N E S

**政治**  
 コモロフスキ大統領, ファン＝ロンパイ欧州理事会常任議長と会談  
 セルビア国防相がポーランドを訪問  
 スクシプチャク国防次官辞任  
 コモロフスキ大統領, 東方パートナーシップ首脳会合に出席  
 コモロフスキ大統領, オランド仏大統領と会談  
 ウクライナ情勢に関するポーランド政府・国会の主な対応

**経済**  
 次期多年度予算で825億ユーロのEU基金を獲得  
 12月の政策金利は2.5%を維持  
 11月の倒産は70社に減少  
 11月のPMIは54.4ポイント  
 第3四半期のGDP成長率は1.9%  
 ビールの消費量が増加  
 ポーランドの非EU市場向け自動車輸出が拡大  
 ポーランド社製タブレット端末の市場占有率が拡大  
 ピエホチンスキ経済相, ポーランドの石炭産業は現状維持ではなく発展が必要と述べる  
 ピエホチンスキ経済相, 再生可能エネルギー発電支援制度は独自策を探るべきと述べる  
 コロレツ特命全権, 気候変動合意案は来年示される予定と述べる  
 ポーランドで来年にも商業レベルでのシェールガス採掘が開始される可能性  
 Grupa Azoty 社とロトス社が石油化学プラント建設に投資  
 EuRoPol Gaz 社のCEOが決定  
 コロレツ特命全権, 気候変動枠組合意まではEUは目標を決定すべきでないと述べる  
 コンパニア・ヴェングロヴァ社の労組が集団争議を開始

**大使館からのお知らせ**  
 東日本大震災義捐金受付について  
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館  
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000  
[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政	治
外	交

**コモロフスキ大統領、ファン＝ロンパイ欧州理事会常任議長と会談【28日】**

28日、コモロフスキ大統領は、ワルシャワを訪問中のファン＝ロンパイ欧州理事会常任議長と会談を行い、同日からリトアニア・ビリニウスで開催される東方パートナーシップ首脳会合を中心に意見交換を行った。

**セルビア国防相がポーランドを訪問【28日】**

28日、シェモニャク国防相はポーランドを訪問中のロディッチ・セルビア国防相と会談。両国防衛協力の拡大及び両国の防衛産業間における協力について協議すると共に、地域情勢、EU・NATO間における取り組み等について話し合った。

**スクシプチャク国防次官辞任【28日】**

28日、シェモニャク国防相はスクシプチャク国防次官の辞任を同省ウェブサイトにて発表。同次官は9月以降、軍装備品調達に関する企業との関係を疑われ検察局の調査対象となっていたところ、今月23日には、ポーランド軍の無人機調達に関する同次官とイスラエル企業との関係が新たに報じられていた。

**コモロフスキ大統領、東方パートナーシップ首脳会合に出席【28～29日】**

28～29日、コモロフスキ大統領はビリニウスで開催された東方パートナーシップ首脳会合に出席した。同大統領は、首脳会合にてEUとウクライナの連合協定への署名が行われなかったことに関し、ウクライナに対して連合協定署名への扉が開かれたままであることをEUが1つの声で発することが重要である旨述べた。

**コモロフスキ大統領、オランダ仏大統領と会談【29日】**

29日、コモロフスキ大統領は、ワルシャワを訪問中のオランダ仏大統領と会談を行い、ビリニウスで行われた東方パートナーシップ首脳会合、ウクライナの今後の方向性、モルドバ及びグルジアに対する支援等につき意見交換した。また、オランダ大統領はトゥスク首相とも会談を行った。

**ウクライナ情勢に関するポーランド政府・国会の主な対応【30日～12月4日】**

28日～29日の東方パートナーシップ首脳会合にてEU・ウクライナ連合協定の署名が行われなかったことを受けてウクライナにて反政府抗議運動が行われていることに関し、30日以降、ポーランド政府及び国会は主に以下の対応を取った。

1日、シコルスキ外相は、ビルト・スウェーデン外相と共に、EUが引き続きウクライナとの連合協定に署名を行う用意があること、キエフでの抗議活動が平和裏に行われることを期待すること等を含む共同声明を発出した。

2日、コモロフスキ大統領は、ウクライナ情勢に関する国家安全保障会議を開催し、同会議後に、ビリニウス・サミット後の不安定な情勢におけるポーランドの新しい活動計画の策定に向けて取り組むことでトゥスク首相と一致した旨述べた。また同日、コモロフスキ大統領は、ヤヌコーヴィチ・ウクライナ大統領及びファン＝ロンパイ欧州理事会常任議長とウクライナ情勢につき電話協議した。

3日、下院は、緊迫しているウクライナ情勢に対する深い懸念、ウクライナのEU加盟希望を示しているウクライナ市民への連帯等を示す決議を採択した。

経	済
---	---

経済・財政政策
---------

**次期多年度予算で825億ユーロのEU基金を獲得【29日】**

インフラ開発省の最新の報告によれば、ポーランドは2014年—2020年次期EU多年度予算において、当初予定されていた729億ユーロより13%多い825億ユーロのEU結束基金を獲得できる見通し。理由は各事業の経費増加によるもので、ポーランドはこの他にも2,520万ユーロの若者失業対策費用を獲得できることになっている。

**12月の政策金利は2.5%を維持【4日】**

金融政策委員会(RPP)は、12月の基準金利を前月と同じ2.5%を維持することを発表した。これで、政策金利は7月以来6カ月連続で同水準を維持しているが、RPPは、実体経済は回復傾向が見られるもののインフレ圧力は依然として弱いため、国内需要が十分に回復すると予想される2014年6月末まで同利率を維持するべきとしており、その後2014年末までに3%程度に上昇させるのが望ましいと説明している。

## マクロ経済動向・統計

**11月の倒産は70社に減少【2日】**

11月は前年同月の86社より少ない70社が倒産し、1,800人が解雇された。但し、年初からの累計では、依然として前年同期の860社より多い868社となっている。また、傾向として地方の中小企業が倒産に追い込まれたケースが多い。

**11月のPMIは54.4ポイント【2日】**

11月の購買者担当景況指数(PMI)は、10月の53.4ポイントより更に1ポイント上昇した54.4ポイントとなった。これは、2011年4月以来最も高い数値となっている。製造業が好調であることが主な要因として挙げられ、新規受注、鉱工業生産ともに過去3年で最も高い数値を記録している。

**第3四半期のGDP成長率は1.9%【29日】**

中央統計局(GUS)によれば、第3四半期の経

済成長率は、2週間前に発表された暫定予測値どおり、前年同期比で前期の同0.8%から1.9%に上昇した。前期比でも、前期の同0.5%より上昇した0.6%の成長となっている。内訳としては、国内需要が0.5%増、純輸出が1.4%増となっている。

**ビールの消費量が増加【29日】**

最新の調査によると、2012年に1人当たり平均ビール99リットル、ウォッカ8リットル、ワイン6リットルを消費していることが判明した。また、65%が仕事の後、ストレス解消のために飲酒を行っているという回答している。また、地方ではなく10万人以上の都市部で飲酒量が多く、6.6%は飲酒量の多さに対し健康を害する危機感を持っている。なお、ポーランドは、欧州で19番目に飲酒リスクの高い国となっている。

## ポーランド産業動向

**ポーランドの非EU市場向け自動車輸出が拡大【2日】**

Automotive Suppliers.pl の試算によれば、今年のポーランドの自動車輸出は175億ユーロに達する。8月の自動車輸出は12.1億ユーロに達し、前年同月比で11.7%拡大、5か月連続で輸出が輸入を上回っている。経済省によれば、第1～3四半期の自動車輸出は前年同期比で2.3%拡大しているとのことであり、また、8月は、非EU市場向けが前年同月比119.1%であった。依然輸出先の8割がEU市場向けとなっているものの、EU市場の需要は前年同期比3.8%減少しており、約28%拡大したトルコをはじめとする非EU市場向け輸出が伸びている。一方、ドイツ(3%減)、英国(1.

4%減)、イタリア(19.3%減)向け輸出は減少している。

**ポーランド社製タブレット端末の市場占有率が拡大【4日】**

昨年1年間の販売台数のほぼ2倍となる100万台のタブレット端末が本年第3四半期までにポーランドで販売されたが、価格の安さを背景に Manta 社、GoClever 社、Action 社、Tracer 社及び Modecom 社などのポーランド社製端末のシェアは昨年の20%から今年は30%まで拡大している。これらポーランド企業は、現在3.5～4%程度にとどまっているスマート・フォン市場でのシェア拡大も狙っている。

## エネルギー・環境

**ピエホチンスキ経済相、ポーランドの石炭産業は現状維持ではなく発展が必要と述べる【28日】**

ピエホチンスキ副首相兼経済相は、ポーランドの石炭産業は同国経済で重要な位置を占めており、単に現状を維持するのではなく、発展することが必要である、また、着実に経済効率性を向上しなくてはならないと述べた。更に、ポーランドの政策目標は、CO2排出削減のために石炭利用と対峙することではなく、状況に応じてエネルギー・セクターを変革していくことであると述べている。石炭価格の下落及び高コスト体質により、ポーランドの石炭産業は国際市場での競争力を維持するためのリストラ等が求められている。

**ピエホチンスキ経済相、再生可能エネルギー発電支援制度は独自策を探るべきと述べる【28日】**

ピエホチンスキ副首相兼経済相は、ポーランドの再生可能エネルギー支援制度は費用のかかる他の欧州諸国の解決策に倣うのではなく、独自の方法を模索すべきこと、自国資源を利用する効率的なものとすること、独自技術の開発を促進する必要があることを強調した。検討中の再生可能エネルギー法案については、技術の購入及び組み立てに支援することを決定し、今後2、3年以内に、年間50億ズロチに上る再生可能エネルギーへの投資ポテンシャルを実現すべく一層努力すると述べた。同法案では、小規模再生可能エネル

ギー発電に係る手続きを簡素化するとともに、オークションや長期固定価格契約の導入により、補助を廃止することが検討されている。

### **コロレツ特命全権、気候変動合意案は来年示される予定と述べる【29日】**

コロレツ環境副大臣・気候変動特命全権は、来年12月にペルーのリマで開催予定のCOP20において、2015年にパリで合意予定の国際的な気候変動枠組に関する合意の一次ドラフトが示される予定と述べた。コロレツ特命全権はCOP19の議長を務め、気候変動枠組合意へのロードマップ、気候変動に取り組む途上国への資金支援、最も気候変動の影響を受ける国々への支援に関する合意を導いた。リマでは、各国の気候変動問題への貢献について議論される。インドや中国といった途上国の圧力により、CO2排出削減の「義務」は「貢献」に置き換えられた。コロレツ特命全権は、再生可能エネルギー発電、エネルギー効率の向上、炭素税の導入や森林保護政策の向上といった対策を取組の例として取り上げた。

### **ポーランドで来年にも商業レベルでのシェールガス採掘が開始される可能性【28日】**

アイルランド系原油・ガス・グループの San Leon Energy 社は、レヴィノ(ポーランド北部)でのシェールガス試掘の結果が予測よりも良好であったことを公表した。垂直方向の水圧破砕で継続的なガスの流量が確認できている。しかし、依然埋蔵量は明らかではなく、約1か月間流量を評価する必要がある。本発表を受けてヴォジニャク環境副大臣は、来年にもポーランドで商業レベルのシェールガス採掘が開始されるだろうと述べ、また、試掘及び水圧破砕の件数が増加することを期待している。

### **Grupa Azoty 社とロトス社が石油化学プラント建設に投資【2日】**

Grupa Azoty 社(ポーランドの国有大手肥料会社)とロトス社(ポーランド第2位の石油精製会社)は、120億ズロチ(約4千億円)を投資して、エチレン及びプロピレン製造プラントを含む石油化学プラントを建設すべく、投資及び事業可能性調査の実施に責任を負う特別目的会社の設立に合意した。また両社は、国有の「ポーランド投資開発

(PIR)」社との間で、PIRが最大7.5億ズロチ(約250億円)本プロジェクトに出資する契約に署名した。2014年に投資最終決定、2016年から2018年にかけて建設、2019年に製造開始を予定している。本プロジェクトにより、2,000人を雇用するとともに、ポーランドの化学品輸入を抑制することが期待されている。Grupa Azoty 社はまた、ロトス社の敷地において、チオ硫酸アンモニウム製造プラントの建設を開始している。

### **EuRoPol Gaz 社のCEOが決定【2日】**

天然ガス・パイプライン運用管理社の EuRoPolGaz 社のCEOにカジミエシュ・ノヴァク氏が、副CEOにトマシュ・フリス氏が指名された。同社は、PGNiG社(ポーランドの国有石油・ガス会社)が48%、ロシアのガスプロム社が48%を所有するPGNiG社の子会社である。

### **コロレツ特命全権、気候変動枠組合意まではEUは目標を決定すべきでないと述べる【4日】**

コロレツ環境副大臣・気候変動特命全権は、ポーランド外務省の資金支援の下ブリュッセルで開催された、経済成長と競争力の観点からの将来のエネルギー・気候変動政策についての討論会において、気候変動枠組み交渉が合意に至るまでEUは新たな目標を決定すべきでないと述べた。2015年第1四半期末までに、国連加盟国は気候変動目標達成のための実施プログラムを示す予定と述べている。

### **コンパニア・ヴェングロヴァ社の労組が集団争議を開始【3日】**

コンパニア・ヴェングロヴァ(KW)社の労働組合は、KW社経営陣が公表したリストラ計画に反対し、KW社に対する集団労働争議を開始した。2014年—2020年のリストラ計画はKW社の所有炭坑の統合及び売却、人員及び給与の削減を含む。2020年までに1.64万人の管理部門の人員削減を望んでおり、これを実現するためには炭鉱も売却しなくてはならない。組合側は、同社が現在の雇用水準を維持すること、給与を物価上昇率に応じて引き上げること、現在の体制を維持し、石炭が利用可能な限り炭坑を維持することを要求している。仮に交渉が不調に終わった場合、ストライキ等の手段を検討する可能性がある。

## 大使館からのお知らせ

### **東日本大震災義捐金受付について**

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成26年3月31日(月)までに延長いたしました。詳しくは下記

HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm)

## 文化行事・大使館関連行事

### 【開催中】 鏝・日本装飾技術の傑作展【10月12日(土)～2014年3月9日(日)】

トルン市にて、ポーランドのコレクションから日本鏝の展示会が開催されています。

問合せ先:トルン地域博物館 (Muzeum Okregowe w Toruniu)

ホームページ: <http://www.muzeum.torun.pl/portal.php>

開催場所:トルン市, Kamienica pod Gwiazda, Rynek Staromiejski 35

### 【開催中】作田富幸版画展【12月5日(木)～ 22日(日)】

カトヴィツェ市のシレジア劇場にて、作田富幸版画展が開催されます。

開催場所: Teatr Slaski, Rynek 10, Katowice

問合せ・申込み先: 電話 32-258-89-92

詳細: [www.teatrslaski.pl](http://www.teatrslaski.pl)

### 【開催中】「東京の色」写真展【～12月27日(金)】

当館広報文化センターにて、ヘンリック・ドゥミン氏による東京の風景・を撮影した写真点を開催中です。広報文化センター開館中(平日 9:00-17:00)は無料でご自由にご覧いただけます。

### 【開催中】「花かんざし」展【～12月27日(金)】

当館広報文化センターにて、キング・オブチャルスカ氏作成によるかんざし展を開催中です。広報文化センター開館中(平日 9:00-17:00)は無料でご自由にご覧いただけます。

問合せ先・開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話: 22 584 7300, Eメール: [info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp))

### 【予定】 日本映画会「トロッコ」【12月11日(水)17:30】

当館広報文化センターにて、川口浩史監督作品「トロッコ」(2009年製作)が上映(日本語音声, 英語字幕)されます。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は、広報文化センターまでご連絡下さい。

問合せ先・開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話: 22 584 7300, Eメール: [info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp))

### 【予定】「PA! con2013」文化デー【12月7日～8日】

ワルシャワ市にて、アニマツリによるポップカルチャーの行事が開催されます。映画・アニメに関する講演会・コスプレイ、カラオケなど、さまざまな行事が行われます。

開催場所: Zespól Szkol, ul. Gwiazdzista 35, ワルシャワ市

詳細: <http://animatsuri.pl/>

### 【予定】第24回ポーランド極真空手青少年選手権大会【12月14日(土)9時半～17時半】

ラジョンクフにて青少年を対象とした空手選手権大会が開催されます。

開催場所: スポーツホール (MOSiR), Radionkow, ul. Knosaly 16

詳細: <http://www.mistrzostwapolskikarate.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

（ご連絡は電子メールでお願いします。）